

わがまち歴史探訪、足もとの文化遺産への誘い
ミュージアム都留からのお知らせ

特別展 義侠の人々 天野開三と品川台場展

会期 10月1日(木)～11月29日(日)

甲州都留郡境村に生まれ、幕末から明治にかけて、品川台場の建設や伊豆下田ほか各地の災害救援など、多くの事業や社会活動を行い、「義侠の人」と称えられた天野開三の事績を紹介します。

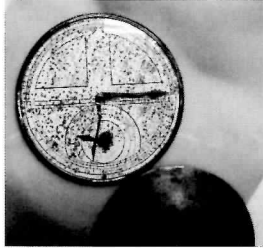
天野開三は、甲斐国都留郡境村(現都留市境)の名主の家に生まれました。若いころから敏活豪放で知られ、甲州に留まらず江戸、相模、伊豆方面で廻船業や薪炭商などを経営し、事業を広げていきました。その関係で、当時郡内地方を統治していた伊豆並山代官の江川太郎左衛門英龍(担庵)らと親交があったと言われ、嘉永6年(1853年)の品川台場(砲台)建設の際には、石材の調達や人足の手配などを請け負い、18万5千両ともいわれる巨額の工資金を得たとされています。



天野開三

開三は、それらの事業によって得た私財を、各地における災害の救援など、社会救済事業に惜しみなく注ぎ込みました。特に、安政元年(1854年)の大地震で大きな被害を受けた伊豆下田(現静岡県下田市)に、米500俵や鍋、布団などの大量の救援物資を贈ったことは「天野鍋」の故事とともに「義侠の人 天野開三」として現在まで語り継がれています。

本展では、明治維新を挟んで、近世江戸時代から近代へと社会が変動するなか、積極的に様々な事業に取り組み、郷土にとどまらず江戸・相模・伊豆など広い地域で活躍した人物である天野開三の事績を紹介し、時代の変化に臨んだ郷土の人々の姿をさぐります。



愛用していた計測器具



愛用していた双眼鏡

天野開三さんは、青少年の修身鍛錬の場として種徳館を明治20年代に建設しました(現在は戸沢の杜 和みの里に移築しています)。



【用語説明】

※義侠とは、正義を重んじて、強い者をくじき、弱い者を助けること
※敏活豪放とは、頭の働きや行動がすばやく、また度量が大きく、大胆で細かいことにこだわらないこと
※廻船とは、港から港へ旅客や貨物を運んで回る船のこと
※薪炭とは、薪や炭などの燃料のこと

開館時間 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

特別展 観覧料

一般 600円(420円)
高・大学生 400円(280円)
小・中学生 200円(140円)
※()内は20名以上の団体料金です。
※増田誠美術館の観覧料は通常料金(特別展観覧料の半額)です。
※チケットは増田誠美術館と共通券ですが、増田誠美術館から特別展へ入館する場合は、差額をお支払いただきます。

休館日 毎週月曜日、第3火曜日、祝日の翌日
問合せ ミュージアム都留 ☎(45)80008

増田誠美術館企画展

「増田誠の版画」

「石版画・特殊版画の世界」

増田画伯は、旧約聖書やギリシャ神話の題材にした作品やトランプの王様や王妃を擬人化した作品など、数多くの版画や油彩を制作しました。今回は、その中から版画の展示を行います。

会期 10月3日(土)～11月15日(日)
会場 増田誠美術館(ふるさと会館2階)
※11月2日(月)は、文化祭期間中につき臨時開館します。

【作品の紹介】

十戒は、神がモーゼに与えたとされる10の戒律です。モーゼの



「十戒」

「増田誠大賞」入賞作品展

会期 10月3日(土)～17日(土)
会場

◎特別賞受賞作品 ふるさと会館2階
○入選作品 ふるさと会館1階
観覧料 無料

※増田誠美術館は観覧料が必要です。

共通事項
開館時間 午前9時～午後4時30分
休館日 月曜日、第3火曜日、祝日の翌日

問合せ ミュージアム都留 ☎(45)80008